



はいのたね



地域連携との関わり

昨年（2015年）10月1日より当院は、特別養護老人ホーム手城福助苑の嘱託医となり、週1回の往診を行っています。こちらの施設は、高齢化に伴い介護を必要とする方が増えた為、短期入所介護（ショートステイ）・通所介護（デイサービス）・居宅介護支援事業を行っております。また、利用中に体調の変化等あれば、当院と連携を図り、連絡等行うシステムを作っております。当院へ入院されて入院治療が終わり、退院が決まった方で、すぐに在宅へ帰るには少し不安、在宅へ帰りたいけれど日中に誰も側にいてくれる人がいなくてお困りの方は御相談下さい。先日も、退院が決まったけれど、自宅へ帰る自信がない為、貴施設利用を決められた方がおられました。週1回の往診を大変喜ばれ、薬の調整も行ったりして安心されていました。当院には退院支援担当スタッフがおりますので、入院中、外来通院中の方も、相談にのっています。



新任職員紹介



理学療法士

平成28年4月1日より、理学療法士として勤務する事となりました、福光です。前の職場で8年仕事に励んできましたが、この度御縁あって、井上病院に勤務する事となりました。これまでの経験を活かし、患者様にステキなリハビリテーションを提供出来るように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。声が大きいみたいなので、うるさかったらいつでも言って下さい。



医療事務

平成28年2月1日より、医療事務として井上病院に勤務する事になりました、大下です。患者様が病院に来られて初めて接するのが医療事務のスタッフなので、患者様の不安を少しでも軽減出来るような対応をしたいです。井上病院で医療事務の仕事をして1から学び、実務経験をしっかり積みたいです。一日も早く仕事に慣れるように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

口腔ケア 一周術期口腔機能管理

医師：高橋 正彦



【はじめに】

近年、口腔ケア（口の中を健康に保つこと）が肺炎などの病気の予防に重要であることが注目されてきました。「口は災いのもと」と言われますが、「口は万病のもと」とも言えます。全身麻酔下手術では口腔ケアをした場合はしなかった場合と比較して術後呼吸器合併症の発生率軽減や術後在院日数短縮につながる事が証明され、2012年度の診療報酬に「周術期口腔機能管理料」が新設されました。当院では2014年より福山市歯科医師会の協力のもとに周術期口腔機能管理を行っています。

【口腔機能管理（口腔ケア）】

口腔機能管理（口腔ケア）とは具体的には、歯磨き、虫歯や歯周病の治療、歯石の除去、義歯の調整などを行い、口腔内を健康な状態に保つことです。

【周術期口腔機能管理の流れ】

手術が決定した外来診察時点で周術期口腔機能管理の説明を行い、かかりつけ、もしくは最寄りの歯科を選び、周術期口腔機能管理依頼書を当院よりFAXを送ります。患者さまは入院までに歯科を受診し、術前の口腔機能管理を行います。当院入院時までに歯科医療機関より周術期口腔機能管理計画書及び周術期口腔機能管理報告書が届きます。入院時、当院看護師により、歯石沈着・舌苔・口腔乾燥・歯肉出血・重度齲蝕・動揺歯の有無などの観察（アセスメント）を行い、それをもとにブラッシング指導やチェック・口腔内粘膜清掃や保湿などの処置を行います。退院時には歯科医療機関に報告書が送付され、退院後も継続的に口腔機能管理が行われます（図1）。

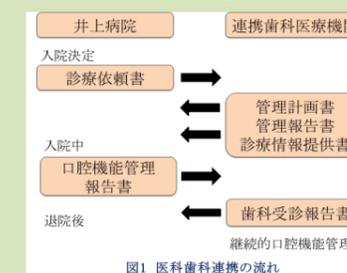


図1 歯科連携の流れ

【術前歯科治療内容】

周術期口腔機能管理を行った75例の、術前歯科で施行した治療内容は、虫歯20例（26.7%）、歯周病41例（54.7%）、義歯の調整10例（13.3%）などでした。8例（10.7%）において術前に処置が完了しなかったが、義歯の新設や調整など、緊急性がなく、退院後に追加処置を行いました。

治療の内容	例数(%)
う歯の治療	20 (26.7)
歯周病の治療	41 (54.7)
義歯の新設	2 (2.7)
義歯の調整	10 (13.3)
抜歯	3 (4.0)
動揺歯の固定	3 (4.0)

重複あり

【術後呼吸器合併症の比較】

周術期口腔機能管理を行った症例（A群）の呼吸器合併症は75例中5例（6.7%）であり、その内訳は無気肺4例、肺炎1例であり、重症例はなかった。周術期口腔機能管理が開始前（B群）では123例中13例（11.4%）であり、その内訳は無気肺9例、肺炎3例、誤嚥性肺炎1例であり、誤嚥性肺炎の1例は重症であった。A群とB群の間で呼吸器合併症発生率に有意差がありました（図2）。

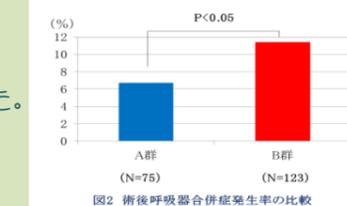


図2 術後呼吸器合併症発生率の比較

【術後在院日数の比較】

肺癌に対する肺部分切除、肺葉切除術においてA群はB群に対して在院日数短縮傾向がみられました（図3）。

【おわりに】

口腔ケアは周術期に限ったことではなく、常日頃から行うことが健康管理に有効です。「口は万病のもと」です。長く歯科受診されてない方や、口の中に異常や違和感のある方は一度歯科を受診されることをお勧めします。



図3 術後在院日数の比較